

2009年

大阪龍馬会イベント

(10. 25)

大阪南部の史跡を訪ねてVol.2

～吉田松陰ゆかりの地を訪ねて～

身はたとひ武蔵の野辺に朽ちぬとも
留め置かまし大和魂

【安政6年(1859)10月25日「留魂録」】



大阪龍馬会



イベントコース

開催日:平成21年(2009)10月25日(日)

探訪コース

集合時間:11:30

集合場所:JR天王寺駅 中央改札口出たところ

見学場所:吉田松陰宿泊の地 中 左近邸跡(中家)

休憩場所:昼食休憩なし

移動:電車・バスによる

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1 降井家書院 | 泉南郡熊取町大久保.6-13 |
| 2 吉田松陰宿泊の地 中 左近邸跡(中家) ※入館料は無料 | 泉南郡熊取町五門西1-11-18 |
| 3 橋本宗吉電気実験の地 | 泉南郡熊取町五門西1-11-18 |
| 4 井原西鶴著の「日本永代蔵」ゆかりの地 廻船業の街 佐野 | 泉佐野市 |
| 5 唐金家邸跡 | 泉佐野市元町4-5 |
| 6 食野家墓所 | 泉佐野市野出町20(野出共同墓地) |
| 7 食野家邸跡 | 泉佐野市野出町1-34(第一小学校) |
| 8 いろは蔵 | 泉佐野市本町 |
| 9 力自慢の石 | 泉佐野市本町 |
| 10 旧新川家住宅 | 泉佐野市本町10-1 |
| 11 勝 海舟、頼 山陽訪問の地 岸 琴泉邸跡 | 岸和田市宮本町 |
| 12 岸 琴泉墓所(正覚寺) | 岸和田市宮本町27 |
| 13 儒者 相馬九方住居跡 | 岸和田市北町16 |
| 14 吉田松陰訪問の地 岸和田藩講習館跡 | 岸和田市北町16 |
| 15 岸和田城下の欄干橋 | 岸和田市津田北町 |
| 16 旧紀州街道 | 岸和田市本町 |
| 17 吉田松陰宿泊の地 塩屋甚兵衛邸跡(久住清子邸) | 岸和田市本町7-3 |
| 18 儒者 相馬九方墓所 (梅溪寺) | 岸和田市南町143-8 |
| 19 岸和田城 | 岸和田市岸城町9-1 |
| 20 五風荘 | 岸和田市岸城町18-1 |
| 21 岸城神社 | 岸和田市岸城町11-30 |
| 22 岸和田藩武家屋敷跡 | 岸和田市岸城町 |

今回のイベントに関連する勝海舟の行動

安政2年(1855)

1月	23日～	勘定奉行 石河政平(従者55人)および目付 大久保忠寛(従者33人)に随行し、勝海舟(従者6人)は伊勢・大坂の海岸巡視を行うため江戸を出発。
2月	22日頃	岸和田藩岸和田城下、紀州街道沿いにあった宿屋「浮舟文右衛門」または「沖舟文右衛門」に止宿。 この時、相馬九方、岸琴泉(長太郎)に会った可能性あり。
	23日～30日	23日から晦日にかけて加太に宿泊。勘定奉行 石河政平は「柳屋善助」「網干屋吉三郎」「北川屋佐兵衛」に宿泊。 大久保忠寛は「利光平兵衛」「大坂屋平次郎」に宿泊。 勝海舟は「魚屋彦太郎」邸に宿泊。

文久3年(1863)

1月	1日	勝海舟は兵庫にて新年を迎える。 坂本龍馬、近藤長次郎、千葉重太郎らを兵庫から大坂を經由して京都に帰らせる。 午後より明石、大蔵谷を訪れ当地で宿泊。
	2日	明石を出立。朝陽船に帰船。
	3日	摩耶山に登山。
	5日	朝陽船で岸和田に向かい、上陸。岸和田にて宿泊。 小笠原図書頭長行は陸路で岸和田に到着し当地にて宿泊。
	6日	小笠原図書頭長行に従い岸和田付近の海岸を巡覧。
	7日	鳥取藩主 池田(松平)慶徳も乗船し、紀州加太に向かう。鯨船で友ヶ島に上陸し砲台を見学。 迎いの朝陽船が来ないため加太に上陸し、飢えをしのぐため淡嶋神社に入る。午前0時、朝陽船が来たので直ちに乗船。
	8日	大坂へ帰坂。土佐藩数人(望月亀弥太、千屋虎之助、高松太郎)が勝海舟門下生となる。
	9日	鳥取藩大坂蔵屋敷を訪ね鳥取藩主 池田(松平)慶徳と海軍や警衛について話し合う。
	11日	大坂から兵庫へ。(坂本龍馬ほか門下生も同行)
	13日	兵庫を出帆し、江戸へ向かう。
	15日	下田港へ。土佐藩山内容堂を訪れる。(坂本龍馬脱藩罪の免除を依頼)
	21日	順動丸にて兵庫港に向けて出帆。
	28日	兵庫港着。
	29日	湊川へ上陸し午後には大坂へ到着。
	2月	3日
4日		帰坂。
5日		大坂城代 松平伊豆守信古が船を見学。
6日		江戸に向かうため出帆。
10日		品川に到着。
24日		大坂に向けて出帆。
26日		夕方、大坂天保山沖に到着。
27日		旅宿 順正寺(大阪市福島区)に入る。
28日		砲台の設置場所が決定。(まず和田岬、湊川、西宮、天保山沖)
30日		兵庫へ。和田岬および湊川の砲台場所を定める。

3月	1日	西宮砲台場所を定める。船で帰坂。 大坂の寓居先を専稱寺(北鍋屋町)に定める。 坂本龍馬、新宮馬之助が来訪。
	7日~8日	上京。
	9日	帰坂。30日まで大坂に滞在。
	17日・18日	松本良順来訪。
	27日	紀州藩へ出張する旨の書付を送付。
	28日	長州藩 井上聞多、山県半蔵来訪。
	29日	長州藩 山県半蔵、桂小五郎来訪。その後大坂城代屋敷を訪れ、 大坂城代 松平伊豆守信古および宇和島藩 伊達宗城と面会。
	30日	紀州和歌山へ向け出立。岸和田で宿泊。
4月	1日	泉州田川(岬町多奈川谷川)の庄官 戸口仙蔵邸に宿泊。
	2日	紀州加太で宿泊。迎いの紀州藩 高木儀右衛門と会う。友ヶ島奉行 酒井伊織来訪。
	3日	和歌山に到着。福島屋(清水平右衛門)邸を寓居先とする。夜になり 紀州藩御用人 向笠三之助、書物方・津田楠左衛門来訪。友ヶ島防 禦、砲台について議論する。
	4日	紀州藩伝法の別館(伝法御殿)を訪れ、紀州藩 久野丹波守、岡野平 太夫、佐野出羽守ほか海防掛り数人と友ヶ島防禦について議論す る。また海軍の必要性を強調する。 4月6日友ヶ島砲台を視察することを約束する。
	5日	和歌山城へ登城し、紀州藩第14代藩主 徳川茂承に拝謁。その後、加 太へ移動し加太で宿泊。
	6日	紀州藩の役人数人とともに友ヶ島砲台を視察。その後和歌山へ戻 る。
	7日	乗馬にて和歌山市中、紀ノ川の川口を見学。
	8日	鯨船にて和歌山紀ノ川口より加太へ移動。加太で宿泊。
	9日	友ヶ島、母江城崎の砲台を視察。位置について議論する。
	10日	和歌山に戻り伝法の別館(伝法御殿)にて、久野丹波守と面談。友ヶ 島砲台、海軍のことを話し合う。 坂本龍馬が大坂より福島屋に到着。
	11日	12日和歌山を出立する旨を報告。藩主より白銀・忍冬酒を賜る。 坂本龍馬より江戸の近況の報告を受け、大久保忠寛の手紙を龍馬か ら受け取る。
	12日	紀州藩数人来訪し、海軍稽古について話をする。
	13日	夕刻、紀ノ川口より大坂に向けて出帆。
	14日	午前、帰坂する。
28日	堺まで順動丸で移動。堺から将軍徳川家茂が乗船。紀ノ川沖で一 泊。 姉小路公知が長崎周りの蒸気船で加太に到着。	
29日	明け方加太に到着。加太に上陸。友ヶ島へ向おうとするが悪天候の ため大坂へ戻る。	



今回のイベントに関連する吉田松陰の行動

嘉永6年(1853)

1月	26日	長州萩を出発。萩から江戸に至るまでの旅を日記「癸丑遊歴日録」に書き残す。
2月	10日	舟にて兵庫より発し、午後到大坂の安治川口に到着。常安橋の下で碇をおろす。夜、舟より上陸し高松藩蔵屋敷内にある「金毘羅宮」を詣で、舟にて宿泊。
	11日	桃谷(大阪府中央区安堂寺町または上本町西周辺)に屋敷がある坂本鉉之助(萩野流砲術家坂本天山の子)を訪問。大坂城を一周し、四つの門(大手門、玉造門、青屋門、京橋門)を見る。
	12日	森田節齋(謙蔵)を訪れるため上陸し、大和五条を目指す。高津宮に参拝。四天王寺→平野→大和川→藤井寺→野中→古市→春日→竹内(たけのうち)峠→山田村→竹内村。竹内村で宿泊。
	13日	竹内村→今市→新所(新庄町)→五条。森田節齋宅に到着するが、節齋は堤孝亭に向かいていて不在。松陰は節齋を追って堤孝亭邸を訪問。節齋に会う。
	14日	森田節齋、増田久左衛門と同行して富田林の仲村徳兵衛宅を訪問し、同所で23日まで宿泊。
	14日～22日	仲村邸に滞在。
	23日	森田節齋に同行して岸和田へ出発。富田林→小坂→南野田村→土生(はぶ)→岸和田。宿所(本町の塩屋甚兵衛邸)に入る。23日から3月3日まで岸和田に滞在。夜、相馬九方の寓居先である岸和田藩校「講習館」を訪問。相馬九方と午前2時まで対談。
	24日	相馬九方が松陰の宿所を訪れる。夜、相馬九方寓居先を再訪。九方と長時間の対談。宿所には翌朝の午前10時に戻る。
	25日	岸和田に滞在。
	26日	相馬九方寓居先を訪問。同所で岸和田藩七庄屋のうちの一人である岸 琴泉(長太郎)に会う。また、岸和田滞在中に岸和田藩士 岡部十左衛門、古屋惣兵衛、濱田雄二郎、宮崎要人。さらには泉州岡田浦の医師である山田文英と会う。
	27日～28日	岸和田に滞在。
	29日	岸和田藩校「講習館」の館長 三宅源之丞を訪問。
	30日	岸和田に滞在。
	3月	1日
2日		岸和田に滞在。
3日		岸和田を出発。熊取の中 左近邸を訪問し同所で宿泊。5日まで滞在。
4日		熊取の中家滞在。
5日		熊取を出発し泉州岡田の山田文英邸を訪問し同所で宿泊。17日まで滞在。
6日～16日		岡田の山田文英邸に滞在。
17日		泉州岡田を出発。佐野→貝塚→岸和田。堺に到着。宿泊先不明。
18日		増田秀齋、小林新介を訪問。午後、富田林に到着し同所に30日まで宿泊。
30日	富田林を出発。大坂に到着。南波邦五郎邸に宿泊する。4日まで滞在。	

4月	1日	後藤松陰(春蔵)と泊園書院の藤沢東咳を訪問。
	2日	坂本鉉之助と奥野弥太郎(遠藤但馬守の家臣)を訪問。
	3日	後藤松陰(春蔵)を訪問。
	4日	大坂を出発。八木の谷 三山邸を目指す。途中、大和高田で宿泊。
	5日	八木に到着。谷 三山に会う。
	6日	五條に向かい堤 孝亭邸にて宿泊。同所に21日まで滞在。
	21日	五條を出発。田井庄の藤井隆菴邸に投宿。25日まで滞在。 谷 三山の弟子 森哲之助邸を訪問。
	22日	森哲之助邸を訪問。
	25日	田井庄を出発し五條へ帰る。宿泊先は堤 孝亭邸か？ 五條に5月1日まで滞在。
5月	1日	五條を出発し田井庄へ向い再度、藤井隆菴邸に投宿。 森哲之助邸を訪ねる。
	2日	田井庄を出発し、森哲之助の嫡子 吉太郎を従えて八木の谷 三山を 訪ねる。谷 三山邸で宿泊か？
	3日	八木を出発。俵本(田原本)→大和郡山。
	4日	郡山の藤川禎二を訪れる。昼から郡山を出発し奈良に向かう。垂井の 小刀屋善助邸にて宿泊。 春日大社を参拝。奈良の大仏を拝む。
	5日	奈良を出発。山城の国に入り、加茂→笠置→島原→上野。 上野にて宿泊。
	6日	上野を出発。山田→平松→長野。伊勢湾の海を見る。長野→三軒茶 屋→片田→津。津の堅町にて宿泊。延岡藩 三宅喜太郎と同宿。

